

- 設立発起人の候補にご相談をいたしました。
- 現在活発化チームで進めているのは「国内IGF活動の運営団体の設立」「国内IGF活動の運営体制の整備」ですが、設立発起人の候補となり得る企業や団体にとっては「来年に迫っている、日本に招致した大規模国際会議（IGF2023）が滞りなく開催されるか」が気になることが明らかになりました。（開催に当たり協賛などを招請されるのが常であるため）
- 総務省と打ち合わせたところ、IGF開催に当たって民間からの協賛も得る必要があるため、IGF2023実行委員会（この文書上での仮称）のような組織を立ち上げて行くとのこと。
- 運営団体にご参画いただきたい企業・団体は、IGF2023実行委員会にご参加になる企業・団体と大きくオーバーラップすることは明らかで、2つを合わせてお願いするほうが良さそうです。
- 更には「IGF2023への協賛+会合成功に向けた活動」を当座のメインに据えるほうが、話が分かり易く、IGF2023を間近で体験した後であれば、IGF活動をきちんと理解した上で国内IGF活動の運営体制を構築することができそうです。
- そこで、今後以下のような方針で本件を進めたく、確認をお願いします。
  - 活発化チームとしての、運営団体設立に向けた、設立発起人候補への働きかけ活動は、IGF2023実行委員会組成と協調して進める。一旦休止し、総務省の実行委員会組成に向けた活動に協力する
  - IGF2023までの間、活発化チームが国内IGF活動(NRI)の運営組織(main organizers / Multistakeholder Organizing Team)として対応する。
  - フォーラムと運営団体の責任分解などの議論は必要であれば継続する

コメントの追加 [1]: 「延期」としてはどうか? 本田さん意見

コメントの追加 [2]: 休止するわけではなく実行委員会組成と協調しながらすすめるようにリワードする

以上